

# 平成28年度埼玉県流域下水道事業会計決算の概要について

## 重要課題

- 1 事業着手から50年が経過し、老朽化が進む施設の修繕や改築
- 2 大規模地震や多発する集中豪雨等に対し、施設の機能確保や関係機関との連携強化による災害対策
- 3 平成28年10月から開始した太陽光発電やバイオガス発電など、下水道資源の有効活用

## 流域下水道事業会計のポイント

42都道府県の流域下水道で公営企業会計導入は3団体（埼玉、東京、茨城）のみ

汚水処理や修繕などの「維持管理」：関係市町の処理水量に応じた維持管理負担金

終末処理場やポンプ場などの「設備投資」：高率（2/3又は1/2）の国庫補助金＋関係市町の建設負担金＋企業債

### 1 業務量

6億4,244万立方メートル

（一日平均：50mプールで約700杯分に相当）

- ・約535万人の家庭排水（BOD:110～250mg/L）等を良好な水質（BOD:1.6～4.1mg/L）にして河川へ放流

BOD（年平均）：生物化学的酸素要求量。水質汚濁の代表的な指標で数値が大きいくほど汚濁している。放流先の河川の環境基準は2.0～5.0mg/L以下。アユが棲める水質は3.0mg/L以下。

### 2 維持管理（税抜。減価償却費等を除く）

汚水処理等の経費約205億円

財源：市町負担金 205億円

- ・約2割を占める電気料が前年度比約9億円減少
- ・これに伴い、老朽化が著しい施設の修繕を約7億円拡充して約73億円実施

### 3 設備投資（税込。翌年度繰越を除く。）

建設改良の経費約156億円

財源：国庫補助金 80億円  
市町負担金 38億円  
県企業債 38億円

- ・老朽化した機械電気設備の改築事業等に約81億円
  - ・現行基準に適合しない施設の耐震化工事等に約22億円
  - ・バイオガスを抽出する下水汚泥の消化タンク建設等に約11億円
  - ・チッ素とリンの除去率を高める段階的の高度処理の導入等に約1億円
- 段階的の高度処理：大規模な施設改造をせずに、運転方法の工夫により処理水質の向上を図るもの。

引き続き、24時間365日、絶え間なく下水道サービスを県民に提供

## 決算のポイント

- ・平成28年度決算は、19億5,392万円の純利益、前年度に比べ約6億円の増。
- ・原油価格の動向などから、電気料金が前年度に比べ9億円と大幅に減少。
- ・高利率の企業債の償還が進み、企業債利息が前年度に比べ1.4億円減少。
- ・処理水量は前年度に比べ1,048万立方メートル、1.6%の減少。  
これに伴い関係市町の維持管理負担金は前年度に比べ2億円減少。
- ・平成28年10月から2流域で稼働した太陽光発電による売電益を621万円計上。

### 1 収益的収支の状況（消費税及び地方消費税を除く。（ ）内は対前年度比。）

事業収益	486億959万円	（8,030万円）	* 維持管理負担金、一般会計繰入金等
事業費用	466億5,567万円	（7億64万円）	* 汚水処理や維持管理の経費、減価償却費等
純利益	19億5,392万円	（+6億2,034万円）	* 電気料変動等の調整財源等

### 2 資本的収支の状況（消費税及び地方消費税を含む。（ ）内は対前年度比。）

収入	187億2,988万円	（+22億7,958万円）	* 国庫補助金、建設負担金、企業債等
支出	232億8,144万円	（+28億2,112万円）	* 施設の建設改良費、企業債の元利償還金等
収支差	45億5,156万円	（5億4,154万円）	* 不足額は損益勘定留保資金等で補填

# 平成28年度 流域下水道事業会計決算の概要

## ■ 流域下水道管内図



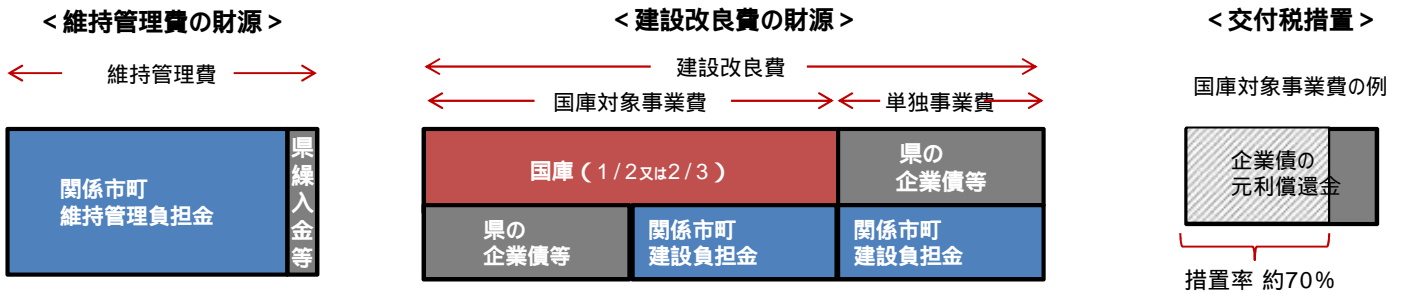
### 流域下水道とは

県内47の市や町の公共下水道をつないで下水を集め、終末処理場でまとめて処理する下水道で、県が建設し管理しています。

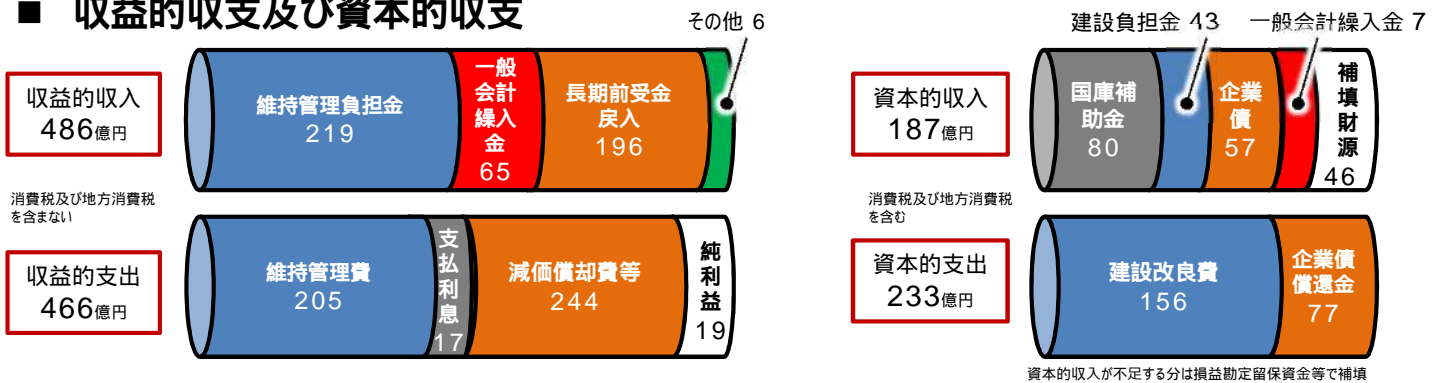
流域名	処理場	関係市町	平成28年度年間処理水量	平成27年度末処理人口
荒川左岸南部	荒川水循環センター	さいたま市、川口市、上尾市、蕨市、戸田市	213,494,351 m <sup>3</sup>	1,867,775 人
荒川左岸北部	元荒川水循環センター	熊谷市、行田市、鴻巣市、桶川市、北本市	50,003,827 m <sup>3</sup>	328,862 人
荒川右岸	新河岸川水循環センター	川越市、所沢市、狭山市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町、川島町、吉見町	201,549,910 m <sup>3</sup>	1,605,588 人
	新河岸川上流水循環センター			
中川	中川水循環センター	さいたま市の一部、川口市の一部、春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、蓮田市、幸手市、吉川市、白岡市、伊奈町、宮代町、杉戸町、松伏町	151,403,588 m <sup>3</sup>	1,330,553 人
古利根川	古利根川水循環センター	久喜市、加須市	15,026,973 m <sup>3</sup>	111,532 人
荒川上流	荒川上流水循環センター	深谷市、寄居町	1,775,841 m <sup>3</sup>	17,389 人
市野川	市野川水循環センター	滑川町、嵐山町、小川町	4,145,200 m <sup>3</sup>	36,645 人
利根川右岸	小山水循環センター	本庄市、美里町、神川町、上里町	5,036,527 m <sup>3</sup>	50,168 人
計	8流域 9水循環センター	47市町	642,436,217 m <sup>3</sup>	5,348,512 人

# 平成28年度 流域下水道事業会計決算の概要

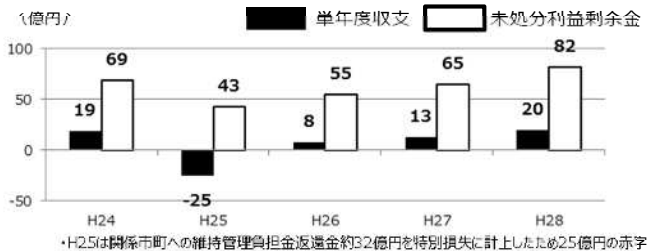
## ■ 流域下水道事業の財政構造



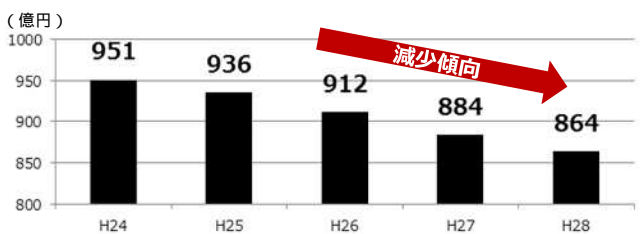
## ■ 収益的収支及び資本的収支



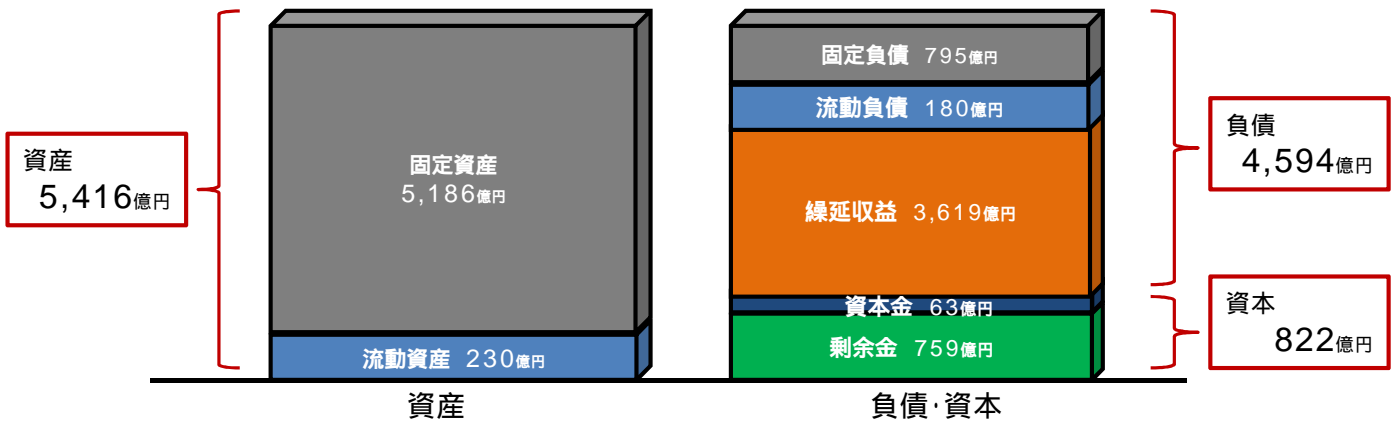
## ■ 収益的収支の推移



## ■ 企業債残高の推移



## ■ 財政状況 (平成29年3月31日現在)



## ■ キャッシュフローの状況 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

